

下見支部だより

平成 29 年 9 月吉日発行
三ツ城自治協議会下見支部

防災訓練参加に 九百人

大規模災害を想定して、東広島市では、毎年八月に防災訓練が行われていきます。自然災害もいつ、どこで起こってもおかしくない昨今、実践さながらの迫り力ある訓練でした。

会場となった広島国際大学には各自治協の防災関係者をはじめ、市消防関係者、手話・病院関係者、道路・バス関係、炊き出しなどの女性連合会、また陸・海自衛隊などありとあらゆる九十団体が参加。総勢九百人を超え、下見支部から四人が参加しました。



救助へりによる訓練

各訓練の流れをわかりやすくイメージできるように前もって冊子を配布。避難所の確認など細かくチェック、けが人を救助、がれきを移動させたり、参加者は訓練とは思えない動きに、暑さも加わり全員

ひと事ではない！ 防災 防犯

の意識を高めよう



汗だくに。やるべきことはすべて想定して行っただけ。参加者からは、「自分のためでもあり、しつこく言えば家族、社会のためでもある。来年も防災訓練はあるのでぜひ参加してみませんか？」と、訓練の大切さを話していました。



足にけがを負い、タンカで運ばれた人の様子を伺う

防犯講演会

「必ず犯人から電話がかかってくる」と

九月二日、下見福祉会館で、防犯講演会があり、東広島警察署・安全課・塚本明義課長が「特殊詐欺に騙されないために」と、題して特殊詐欺の現状について話しました。

東広島市の詐欺被害は、今年すでに八千八百万円で昨年を上回っているそう。でも、誰もが自分は詐欺には合わないと思っていても、どんな人



東広島市観光マスコット「のん太」

が詐欺に合いやすいかといえば、

★七〇代の女性が

七割近くを占める。騙されない自信がある人が多い。

★主な手口は、パンフレットなど架空詐欺、還付金詐欺、キャッシングカードをだまし取るなど。お金の話が出ると百パーセント詐欺、と口調を強めました。

「お金を振り込む前に誰かに相談を。どんな小さなことでもおかしいなと思ったらすぐに警察に電話をしてください」と塚本課長。

また、昨年四月頃から、全裸男が下見を中心に発生しているようで、全裸男、不審者や車を見かけたらすぐに110番通報を。



詐欺防止について話す塚本課長

健康づくり講演会

下見七五会



九月二日、防犯講演会の
すぐあと、渡部和彦・広島
大学名誉教授「広島県ウオ
ーキング協会会長の健康
づくり・ウォーキングにつ
いて実践を伴った講演会
がありました。
ウォーキングが身体に
良いことはこの情報時代
大方の人が周知のこと。
渡部先生は、身体運動は
大別して**速筋繊維と遅筋
繊維**の二種類があり、前者
は瞬発的なスピードで一
〇〇メートル走などによ
いそう。後者は有酸素運動
のように長く継続できる
運動がよく、エアロビクス、
ウォーキングなどが良い



ゆっくり、大きく、同じ速度で
実践する70人の参加者

下見七五会は講演
会を催したり、下見福
社会館の清掃などボ
ランティア活動もし
ています。五十才から
誰でも入会できます。
会員登録中。

と話します。

高齢化と
ともに筋力
が落ちるの
は仕方な
いことで、
高齢者にな
るにしたがって筋肉が固
くなり、転びやすくなるこ
も。そのためには持久力を
付けることで、足の太もも
の表側と裏側の筋肉をつ
けると良いそう。少しでも
体を動かすことも大事。す
ぐ出来るのがウォーキン
グです。



ウォーキングするとき
のイメージは、
★かかとから着地しそれ
から足指にぬけるように。

★姿勢は背筋を伸ばして
あごを引く。
★目線は遠くの景色を眺
める感覚で。
★一日三十分〜四十分程
度で、いきなり歩数を決
めないことなどでした。
また昭和四八年南極観
測越冬隊に医学担当とし
て参加した時の様子を紹
介し、その時の研究などが
「運動はクスリ」と今に生
かされているとか。
ウォーキングは身体的
健康だけではなく、それぞ
れ仲間もでき、そして地域
をも元気にする社会的健
康も重要になるそうです。
ゆっくり、大きく、同じ速
度で、身体を動かしてみよ
うということでした。

三ツ城メールに 登録しませんか

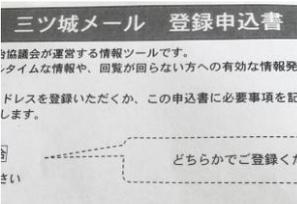


三ツ城メールの登録者
数は、現在二百五十人余り
になりました。

登録すると、三ツ城地域
のイベントや緊急を要す
る防災関連情報など、また
暮らしに役立つタイムリ
ーな情報などが、登録者へ
一斉配信されます。

登録方法も一通りにな
りました。メールアドレス
を登録するか登録申込用
紙に必要事項を記入、事務
所まで提

出するか
の二方法
あります。
登録し
てみま
せんか。



家庭ごみ いよいよ有料に 10月から

いよいよこの十月から
家庭ごみの有料化が始ま
ります。
市の広報紙などで何度
も告知されているように、
家庭ごみの減量や処理に
かかる費用を公平性が確
保されるようにするため。
今後の袋はオレンジ色
(燃やせるごみ)と紫色
(資源ご
み)になり、
袋の販売
価格が変
わります。
市・広報
紙九月号
と一緒に

配布された、ごみブック保
存版(写真左)を参考に
ごみを出す時のルールを
守りましょう。



平成29年10月16日～
平成30年3月30日(予定)



平成二九年十月十日火
午後一時～午後四時まで、
西条町下見、中
央中学近く北
側の平成橋の
橋梁点検のため
通行止めにな
ります。事前
には工事看板
も設置される
予定です。

② 平成橋 橋梁点検

平成二九年十月十日火
午後一時～午後四時まで、
西条町下見、中
央中学近く北
側の平成橋の
橋梁点検のため
通行止めにな
ります。事前
には工事看板
も設置される
予定です。

土砂災害から皆さんの
命を守ることを目的とし
て、土砂災害防止法が平成
十三年四月一日から施行
されました。

土砂災害防止法に基づく基礎
調査のための土地の立ち入り

広島県では、土砂災害に
より被害を受ける恐れのある
場所の地形や土地の利用状
況などについて、基礎調査を
しています。

三ツ城小学校
区も基礎調査が
実施されるそう。
平成二九年九月
上旬～十二月十
日までの予定です。

作業の進捗状況により三
～四ヶ月調査期間が延び
ることもあるそうです。

二～三人のグループで
測量機器等を使用して地
形等の測量を行います。不
審な点があれば広島県が
発行した身分証明書を携
帯しているので提示を求
めてください。

注意!

道路の
通行止め

①

今年度から黒瀬川から広島中央農協の低温倉庫に向けて、都市計画道路路西条中央巡回線が整備される予定。そこで西条中央側で黒瀬川に架設する橋の土台となる橋梁下部工を施工するため、平成二九年十月十六日から平成三十年三月三十日まで、



この期間は終日、車両、歩行者、自転車の通行ができません。う回路を上手に利用するなど、協力をお願いいたします。

すでに工事予告看板も設置されています。来年度は対岸での工事が行われる予定です。



各組のブースは
人だかり



1の1組・お面売り
あっという間に完売



平成二九年
下見夏まつり
八月

賑わう夜店 ←→

光の宴 10月21日(土)



三ツ城自治協議会文化部の最大イベントとして今年も、十月二一日(土)「光の宴」が三ツ城古墳公園で開催されます。

約三千本のロウソクの灯りに照らされた三ツ城古墳は格別の世界です。

中央中学、賀茂高校の吹奏楽演奏、またハーモニカや和楽器演奏など聴くのもよし、古墳公園散策もよし、楽しみはたくさん。

ロウソク点火は午後五時予定。雨天の場合は翌日になります。

地区のボランティアで作り上げているこのイベントに参加してみませんか。



下見地域交流会では今年も区民文化祭・区民運動会が開催されます。

★下見区民文化祭 10月二八日(土)・二九日(日)

★下見区民運動会 10月二九日(日) 午前九時～
いずれも下見福祉会館・下見コミュニティー広場で。

豊年くじもあります。

★自治協・健康部会主催・グラウンドゴルフ大会 11月十九日(日)・下見コミュニティー広場で開催予定です。

奮って参加してみましよう。何か良いことが起きるかもしれません。

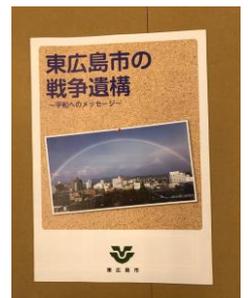
西条町下見、蓮華寺橋のすぐ北側に建っている石碑は「兵士壮行式場跡の碑」です。

これは平成六年に「下見平和を守る会」が恒久平和を念願し、過去の戦争惨禍を反省するために建てた石碑です。

温故知新 Vol.3 兵士壮行式場跡の碑

下見振興協議会
冊子によると、蓮華寺橋のたもとで、前を流れる黒瀬川が番蔵川と

合流する天井川の広い河原だったようです。ここで下見区民は明治・大正・昭和の三代に



「東広島市の戦争遺構」の冊子

わたって地区出身の入営兵士を見送ったそうです。下見地区の先輩諸氏がどんな想いで出征し、家族が手に手に小旗を持ちどんな想いで見送ったのか。

下見の戦争体験者や遺族が想い出を忘れないように書き残しておこう、ということでも一人が寄稿、平成六年「昭和のたたい想い出の記」という本も出版されました。

東広島市では今年、東広島市の戦争遺構(写真右の一部を冊子にまとめました。太平洋戦争にまつわる軍事施設跡や石碑など。その中に「兵士壮行式場跡の碑」も掲載されています。この冊子は市内小・中学校にも配布



地区の情報、ご提案、ご意見など何でもお寄せください。
お手伝いくださる方も大歓迎です！

三ツ城自治協議会下見支部・広報部
東広島市西条下見5丁目4-8(下見福祉会館)
☎・FAX (082)427-6511(月・木午前中)
E-mail mitsujiyo-jk@poem.ocn.ne.jp